



お施主様インタビュー

札幌市H様邸(2024年11月完成)

今回は2024年11月にお引渡しをさせて頂いたH様邸のご主人と奥様にお話を伺いました。

佐藤「お引渡しから約1年が経ちましたね。お家の住み心地はいかがですか？」

奥様「最高です！冬はとても暖かくて、床暖房が快適です。」

ご主人「夏は窓を開けると風が入ってきて、涼しいですね。エアコンは猛暑の日くらいしか使いませんでした。」

佐藤「快適に暮らしていただけ良かったです。H様のお気に入りの場所はどこですか？」

奥様「吹抜けがあるので、一日中すごく明るいところ。それとキッチンが広くて使いやすいですし、子供の様子が見えるので、とっても気に入っています。」

ご主人「洗面台が広くて使いやすいです！朝はゆったりと準備できるので、気に入っています。」

奥様「それと収納がたっぷり助かっています。洗濯物干しスペースも2か所あるのもすごく助かっています。」

ご主人「ほとんど1階だけで生活しています。2階は可変型の子供部屋をキッズスペースにしているので、子供が元気に走り回っています。それと書斎はテレワークができて、ちょうど良い広さなので仕事に集中できます！」

佐藤「ありがとうございます！H様は分譲マンションからの住替えでしたが、生活の変化はありますか？」

奥様「やっぱり気にせず子供が、のびのび成長できているのが一番です。マンションだと迷惑が掛かっていないか気になってしまうので…子供は階段も楽しいみたいですよ。」

ご主人「マンションだとアウターなどを部屋まで持って行って収納していましたが、今は玄関のシューズクロークにいっぱい収納できますし、冬はパネルヒーターにコートを掛けられるのも嬉しいです。」

佐藤「ご家族やお友達からの評判はいかがでしょう？」

奥様「とても好評です。明るくて家中あったかくて居心地が良いみたいです。飾り棚や壁も可愛いねと褒められます。」

佐藤「今後お家で考えているやりたいことはありますか？」

ご主人「8月末頃に外構工事が終わったので、来年はもっと家庭菜園、BBQやプール遊びを楽しみたいです。」

ご家族皆さんが笑顔で暮らしているお話を聞いて、とても嬉しくなりました。

H様、お忙しいところ取材のご協力を頂きありがとうございます！
【営業部 佐藤】





硬貨を入れてハンドルを回すとカプセルに入った玩具が出てくる小型の自動販売機。皆さんは何と呼んでいますか？正式名称は「カプセルトイ」というそうです。商品をひとつ選んで購入するのは違い、何が出てくるかわからないあのワクワク感がたまりません。子どもの頃は親におねだりして回していた記憶がありますが、大人になった今は回し放題です！コロナ禍以降カプセルトイ専門店が増え、商業施設や街中を歩いているとつい目に留まり、ふらっと立ち寄ってしまいます。価格帯は以前より上がっているものの、その分クオリティも高く、ポーチやコインケース、アクセサリなど実用性のあるアイテムも多いです。どんな新商品が出ているのか見る楽しさ、回す瞬間のワクワク感、使える実用性、飾って楽しいデザイン性の高さ。



すっかりカプセルトイの虜です。300~400円で手に入れられる暮らしの中の小さな楽しみ。つい回しすぎてしまわないよう、気を付けます！！

[設計部 齋藤]

イネスホームではリフォームのご相談を承っています！注文住宅で培った高い技術と経験を活かし、安心・快適な住まいづくりをお手伝いしています。

水まわりや内装、外壁・屋根、断熱改修など、幅広い工事に対応しながら、地域の気候や暮らしに合った最適なプランをご提案。

ちょっとした相談からでも大歓迎。ぜひ右記QRコードもしくは下記フリーダイヤルよりご連絡下さい。



インスタフォローお願いします



最新のモデルハウス情報などを発信しています。

インテリアの写真も投稿していますので是非フォローして下さいね！



けんちくのウンチク 「外断熱工法」

木造の外断熱工法とは構造材の外側をボード状の断熱材で覆う工法で、建物の断熱性・気密性を高めます。これにより家中の温度差を減らし、結露を防ぎ、構造躯体を保護して耐久性を向上させる効果があります。



【メリット】

- ・高い断熱・気密性能：構造材の外側を断熱材で切れ目なく覆うため、熱の損失が少なく、高い断熱・気密性能が安定して実現できます。
- ・躯体の長寿命化：柱や梁などの構造部が断熱材に包まれることで、温度差が小さくなり、木材が直接外気にさらされることが減り、結露も防止するため、建物の耐久性が向上します。
- ・居住空間の確保：断熱材が壁の外側にあるため、壁内の空間を配線や配管のスペースとして有効活用でき、室内空間を広く使えます。
- ・結露防止：壁内結露の発生を抑制し、木材の腐朽を防ぎます。

【デメリット】

- ・施工上の課題：重い外装材を使用する際に、断熱材の厚みを制限する必要がある場合があります。
- ・コスト：充填断熱工法に比べて、工費が高くなる傾向があります。
- ・地震への影響：外装材と断熱材の間に隙間がある場合、建物の揺れで断熱材が変形しやすいという側面もあります。

[工事部 松山]



社長のつぶやき 「チャレンジ」

皆様、新年あけましておめでとうございます。旧年中は、たいへん厳しい試練を与えられた年でありましたが、無事に新しい年を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

振り返れば、物価高や人手不足など、住宅業界を取り巻く環境は決して良い状況ではありませんでしたが、一棟一棟の家づくりに真摯に向き合うことで、改めてこの家づくりに携われることへの感謝の気持ちを実感しました。

住まいは、家族の暮らしと想いを受けとめる大切な「器」です。今年も、性能やデザインはもちろん、家づくりは「家族の幸せの創造」であることを何より大切にしながら、地域の皆さまに寄り添った家づくりに取り組んでまいります。

また、新しい取り組みとしてタイニーハウス「SmALL」にもチャレンジしてまいります。

弊社にとっては2026年は創業50周年という節目の年でもあります。

本年が皆さまにとって健やかで実り多い一年となりますようお願い申し上げます。変わらぬご愛顧のほど、よろしく申し上げます。 [社長 塚本]



次回ニュースレターは2026年5月中旬 発行予定です。